

内容に関する概要

緩和的放射線治療

治療前

1. ホスピスの医師と会い、目標について話し合います。医師は、身体的な快適さ、精神的、精神的、感情的なニーズに関するあなたの希望について尋ねます。
2. 放射線腫瘍医（放射線療法を行う医師）と直接またはビデオ会議で面談します。医師は、以前に放射線治療を受けたことがあるかどうか、どのような画像診断やその他の治療を受けたかなど、あなたの記録を調べます。
3. 放射線治療のための追加の画像診断、検査、試験は必要ありません。あなたとあなたのご家族が放射線治療について疑問がある場合は医師に尋ねてください。
4. 医師が考えられるメリットと治療のリスクについて説明します。放射線があなたに適切であれば、インフォームドコンセントフォームに署名するよう求められます。
5. ホスピスの医師は、治療前に痛み、不安、吐き気を治療または予防するための薬を処方する場合があります。

同日のシミュレーションと治療

1. ご家族やご友人と一緒に放射線腫瘍科の医療機関に行きます。必要に応じて医療搬送も利用できます。
2. 到着したら受付後、どこへ行くか案内されます。放射線腫瘍科の診療所で少なくとも4～6時間の滞在を予定してください。
3. まず、スキャンマシンで「シミュレーション」（または略して「シム」）と呼ばれるプランニングセッションを行います。プランニングセッションには約1時間かかります。チームは放射線ビームを腫瘍に向けるために、皮膚にマークを描いたり、シールを貼ったりします。治療中に同じ姿勢を保つために、チームは追加のサポートを使用することもあります。
4. シミュレーション後、チームが治療計画を作成している間、待合室で待機していただきます。これには数時間かかる場合があります。
5. シミュレーションと同じ日に治療が行われる場合は、計画が完了するまで放射線腫瘍科がある医療機関に留まることになります。別の日の治療をご希望の場合は、計画の準備が整い次第、再度医療機関への来院を求められます。
6. 治療時間は15分～30分程度となります。放射線自体はすぐに終わり、痛みはありません。
7. 治療後、放射線腫瘍医が次のステップと今後の予定について説明します。概要が説明され、ご自宅に帰るか、ホスピス施設に戻ることができます。

治療後

放射線は腫瘍周囲の健康な組織に影響を与える可能性があり、副作用が現れるまでに数日かかる場合があります。ホスピスの医師または看護師があなたの状態をチェックし、副作用がないかモニタリングします。

放射線を受けた後に人々が感じるかもしれないことは次のとおりです。

- 倦怠感
- 敏感肌（まれ）
- 吐き気（上腹部に放射線を受けた場合）

放射線治療を受けた後にご自身で以下を行ってください。

- 休む
- ご友人やご家族にサポートを求めて相談してください
- 楽しむのに役立つ趣味や活動に焦点を当てましょう
- 医師が同意したローションを使用してください
- 副作用が悪化した場合はホスピスの医師に連絡してください